

学校関係者評価員会実施日： 令和5年 5月 29日 10時30分 ～ 12時00分

評価委員：（順不同、敬称略） 白倉 慶大 平池 恵 田中 一志 武石 明菜 橋原 均

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

【理念・運営目標】	北海道エコ・動物自然専門学校は、、職業教育を行う高等教育機関として、職業人教育を通じて社会に貢献するミッションを持ち、3つの建学の理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」を通じ業界に直結した職業人の育成をするとともに、4つの信頼「学生・保護者からの信頼」「高等学校からの信頼」「業界からの信頼」「地域からの信頼」を得ることを目指している。 北海道恵庭市の環境を活かし「動物と共に学ぶ学校」をコンセプトに、高い就職実績を実現し、道内はもちろん、全国から支持される学校を目指す。
【組織目的】	動物に関わる豊富な学習環境を特長とし、「動物と共に学ぶ学校」として、人と動物を繋ぐ人材を育成します。 また、その環境を活かし、学外の方にも動物に関わる学びを提供していきます。 そのことで、人と動物が共生する豊かな社会創りに貢献をします。
【運営方針】	1. 「動物と共に学ぶ学校」としてのブランド構築 2. 学校学科再編に対応した強い学校づくり 3. 授業の質向上に取り組む

項目	点検項目	2021年度自己点検	2022年度 重点目標	2021年度 委員会評価 (平均)	2022年度 自己評価	2022年度 委員会評価 (平均)	学校関係者評価委員よりの御意見
				【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	本校を設置する学校法人は、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションとしている。ディプロマポリシーを学校として明確に定め、「動物福祉」「環境保全」に関する知識を基盤とし自ら学び続ける意欲を持った人材育成を目指している。	より自ら学ぶ環境を構築したい	3.0	3.0	3.0	・業界の技術、知識も必要だが、人間性、社会人としての知識も今後は必要と感じる(白倉委員)
	1-2 学校の特徴は何か	地域貢献プログラム「ECO-Academy」を策定している。小学生を対象とした夏休み自由研究では、延べ38名の参加。地域の方々を対象としたトリミングサロンは順調に利用者が増えている	今後も継続するとともに、または新規事業を展開し学生の教育の質の向上を図りたい。	3.0	3.0	3.0	
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	常に先を見据えた5か年計画を策定し、社会の変化に対応して、教育・運営の両面から学校の将来像を描いている。動物分野の学校として、ブランド化を目指していく。		3.0	3.0	3.0	
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか	市場のニーズと学校の課題を捉えた上で、運営方針を定めている。それを毎年の実行方針や目標に具現化している。		3.0	3.0	3.0	
	2-5 事業計画は定められているか	本校の事業計画は毎年11月ごろ作成している。合わせて収支計画も作成し、学校の中長期的な財務基盤の安定に努めている。		3.0	3.0	3.0	
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	毎週水曜日に、全職員参加の全体会議と学科会議を交互に実施し、学内コミュニケーションが円滑に図れるようにしている。	今後も毎週水曜日に、全体会議と学科会議を交互に実施し、学内コミュニケーションが円滑に図れるようにしたい。	3.0	3.0	3.0	・一人ひとりの学生を学校全体でしっかりとサポートできていて安心だと思いました。
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	学園全体で作成した、就業規則をはじめとした各種制度にてを整備している。		3.0	3.0	3.0	
	2-8 意思決定システムは確立されているか	学校全体会議を開催し、教育、広報、就職、予算等の問題解決している。また朝礼・終礼を行い、日々発生する諸問題の解決を迅速に行っている。	今後は職員室が分散するので、ICTを活用して意思決定の迅速化を図りたい	3.0	3.0	3.0	
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	学生・教職員の個人情報管理はAS400のシステムで行っている。また、サイボウズによる学内コミュニケーション、稟議、出張、外勤のシステム等を管理し、効率化を図っている。	今後は出席管理システムや講師出勤管理などさらに効率化を図りたい	3.0	3.0	3.0	

項目	点検項目	2021年度自己点検	2022年度 重点目標	2021年度 委員会評価 (平均)	2022年度 自己評価	2022年度 委員会評価 (平均)	学校関係者評価委員よりの御意見
				【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	各学科毎にディプロマポリシーをしっかりと定め、業界のニーズに対応出来る人材育成に取り組んでいる。		3.0	3.0	3.0	・近年、他専門学校の比べた際、生徒、卒業生の質に変化がみられる。カリキュラム上、成績上位者と下位の差が開きやすくなってしまっているのは、致し方ないとするが、卒業生としては少し悲しい(白倉委員)
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	前期・後期に分けて段階を追ってスキルを上げて行ける様にシステムを構築している。学外実習においては選択科目制や提携先の再評価も行い、公平な評価になるよう努めた	国家試験が初めて実施されるため、より明確化されると思われる	3.0	3.0	3.0	
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	各学科の特徴を生かし、その学科のディプロマポリシーを基に作成したカリキュラムポリシーに沿って、体系的に編成されている。		3.0	3.0	3.0	
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	カリキュラムポリシーや卒業時の到達目標に向けて、科目の繋がりを意識し、それぞれのカリキュラムが適正に位置付けされている。		3.0	3.0	3.0	
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	キャリア形成を目的にオープンキャンパス・入学前教育を行い、在学中はキャリア設計を意識したカリキュラムに沿って授業が展開され、卒業後はキャリア開発が出来るようにサポートを実施している。		3.0	3.0	3.0	
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	2022年度は2年ぶりに授業アンケートを実施し、学生からの授業評価を行った	次年度以降も継続的に行いたい	2.4	3.0	3.0	
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	業界で実務経験を積んだ教員として卒業生の教員、現場で現在も活躍する教員も確保している。それぞれの講師が意見交換などの交流を行う場を設け、教育の質向上を図っている。	より一層講師陣を充実させ、高度な授業を行える準備をしている。	3.0	3.0	3.0	
	3-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	「教育システム改革研修」および「カリキュラムプレゼン」など計画的に行うことで、専門性の向上に努めている。また滋慶学園グループ内の同業種養成校と積極的に研修、情報交換を行い、専門性を向上させている。	「教育システム改革研修」および「カリキュラムプレゼン」など計画していた研修、会議については実施することができ、引き続き行いたい。また北専各連主催の教職員研修も行った。	2.4	3.0	3.0	
	3-18 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	教育指導要領に記載されている学則、細則に定められている規定に沿って適正に評価している。		3.0	3.0	3.0	
4 教育成果	3-19 資格取得の指導体制はあるか	取得目標としている資格は、その業界で仕事をする上で重要な資格である為、希望者全員が資格取得が出来るように受験対策を行っている。	愛玩動物看護師の資格取得のため、国家試験ドリル・自宅学習支援システム(J-web)等の環境を活用する	3.0	3.0	3.0	
	4-20 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3月末の求職者就職率は93.5%(72名就職／77名希望)、専門就職率は81.9%と高い専門就職率を維持した。年度末で残った就職希望学生は5名である。		3.0	3.0	3.0	
	4-21 資格取得率の向上が図られているか	資格取得の為に必要な支援講座を行っている。受験学生の状況に合わせてながら受験指導内容を検討し改善を行っている。		3.0	3.0	3.0	
	4-22 退学率の低減が図られているか	中途退学に対して目標を掲げ対策に取り組んでいる。メンター制度や選択授業制度等、教育システムを改革した。またスクールカウンセラー等とも協力し、退学防止に努めている。退学者数は11名(4.6%)となった。	さらなる教育システムの改善等により、退学率の低減を図りたい	3.0	2.0	2.5	・今後フリースクール出身や不登校だった学生は増加の一途と考えられます。どうすれば退学が減るか考えてほしい。(平池委員) ・今後は適正のミスマッチ等により就学の意思の低下となる学生や高校在校時、コロナによる出席の取り扱いから安易な欠席はがあるとする(田中委員) ・様々な事情の学生さんに対応しようとしていて、ずばらしいと思いました。卒業後も対応してもらえる学生さんは安心なのかなと思います(武石委員)
	4-23 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2023度を実施した卒業生への取材件数は、全部で4件であった。コロナ禍において、取材NGが多い中で、これだけ実施できたことは、卒業生、就職先の企業様には、感謝を申し上げたい。	次年度も卒業生をの活躍を把握し、在校生及び同窓生に周知したい。	3.0	3.0	3.0	

項目	点検項目	2021年度自己点検	2022年度 重点目標	2021年度 委員会評価 (平均)	2022年度 自己評価	2022年度 委員会評価 (平均)	学校関係者評価委員よりの御意見
				【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	
5 学生支援	5-24 就職に関する体制は整備されているか	キャリアセンターを設置し、職員を配置している。キャリアセンターは厚生労働大臣へ届出による「無料職業紹介事業」を行っている。また就職への動機づけ授業、就職に向けた面談、履歴書添削、面接試験対策、求人開拓や、学内外の企業説明会の開催・参加の案内をし学生の業界理解に努めている。	キャリアセンターから産学・高専連携センターへ発展的解消し、より質の高い就職を目指す体制とする。	3.0	3.0	3.0	
	5-25 学生相談に関する体制は整備されているか	メンター制を導入し、学生の相談は内容に応じて各教員が対応することで行き詰まりが無いようにしている。また必要に応じてSSCへ繋げて、より深いカウンセリングを受けられるように対応している。		3.0	3.0	3.0	
	5-26 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	学費は原則一括納入ではあるが、個々の家庭の状況を鑑み、それぞれに合わせたプランの提案を実施している。また日本学生支援機構の奨学金利用等、公的支援制度への相談体制ができている。奨学金利用の説明についても丁寧を実施している。		3.0	3.0	3.0	
	5-27 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	健康診断をはじめとして学校保健法に規定するコンプライアンスは遵守している。特に医療法人慶心会による健康管理体制により、健康診断とその再検査も実施している。		3.0	3.0	3.0	
	5-28 課外活動に対する支援体制は整備されているか	課外活動について、学生からの要望等があれば柔軟に支援する体制を整えている。また動物愛護月間(9月)の各地区のフェス等に学生と共に参加し、支援している。しかしながらコロナ禍によってイベントが中止しているため十分な参加ができていない。	2023年度も、JAKペットフェスティバル、江別、札幌の愛犬フェスに参加を前向きに検討する。	2.4	3.0	3.0	・春～秋にかけて大会等で忙しく過ごしているようです。また通年通してO.Cの手伝いなど授業外の活動もあり良いと思います。(平池委員)
	5-29 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	寮については学園グループ企業が4棟を有しており、地方からの学生にも対応できる体制となっている。寮には寮長が健康管理、生活指導を行っている。学生からの評価は上々である。	2023年度よりすべての寮で犬を飼える環境を構築した。またそれに伴う関係機関への調整も行う。	3.0	3.0	3.0	
	5-30 保護者と適切に連携しているか	入学式、卒業式に保護者会を実施し、積極的にコミュニケーション等をとっていただけるよう努めている。		3.0	3.0	3.0	
	5-31 卒業生への支援体制はあるか	北専各連動物部会として卒業生のキャリアアップを目的とした「卒後セミナー」を開催してるが、コロナ禍のため開催を中止した。また動物看護師の国家資格化に伴う、卒業生の個々の状況に応じた対応を行った。	次年度は内容を改善した「卒後セミナー」の開催を模索したい。	3.0	3.0	3.0	
6 教育環境	6-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	各教室・実習室に必要な教育機器を配置している。 2022年度は犬の増加にあわせて犬舎の増設等を行った。	エコ第2校舎も4月より稼働し、より施設の充実を図る	3.0	3.0	3.0	
	6-33 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	学外実習については道内、道外問わずに50カ所以上におよぶ研修施設において実践的な実習ができるよう準備している。海外研修は、各地域の事情を鑑みていくつかのプランを準備している。実習における成績評価は、実習の指導担当者によりその技能のレベルや人間力について評価している。実習前においては、指導担当者と十分な協議を重ね、受け入れについての合意と内容の承諾を受けて実施している。	2023年度はコロナ禍等の阻害要因もなくなりつつあるため、知床研修や海外研修を実施したい。	2.8	3.0	3.0	・2月の関西研修はわざわざ関西に行った理由が判りかねた。、催行の意図を明確にしてほしい。(平池委員)
	6-34 防災に対する体制は整備されているか	防火管理者をはじめとして、環境安全衛生管理者、衛生管理者、環境管理者、安全管理者による管理体制を敷いている。年に1回消防本部、環境整備関連会社による防災訓練を実施。防災教育にも力を入れている。AEDは各校舎設置しており、定期的な救急時における知識の習得と意識付け研修も行っている。また、学生・教職員ともに災害時の安否確認システムに登録し有事の際の備えも行っている。		3.0	3.0	3.0	
7 学生の募集と受け入れ	7-35 学生募集活動は、適正に行われているか	学生募集活動は、北専各連の定める募集基準に則り、AOエントリーは6月から、出願は9月から、その他の受験方法による出願は10月から受け付けている。募集要項に関しては、学費を全額表示するなど、受験生にとってわかりやすく掲載している。		3.0	3.0	3.0	・学生間の動物に対する熱量の差を感じる時があります。特定の動物しか可愛がれなかったり、世話にムラが生じたり。一緒に学んでいる他の学生たちもそれを感じていると思います。人付き合いは大きな課題ですが、こういうところもひずみの一つだと思います。(平池委員)
	7-36 学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	「動物と共に学ぶ学校」としての実践、その結果としての卒業生の実績を、入学案内、WEBページ、SNS等を通じて積極的に発信している。	学校の教育活動全般を、Instagram、Twitter、YouTube、Facebook、TikTokのSNSにて適切に情報発信する。	3.0	3.0	3.0	
	7-37 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入学選考は入学試験規定を定め、これを運用している。可否についても入学選考規定に則る入学合格判定会議を実施し、公平、厳正に実施している。		3.0	3.0	3.0	
	7-38 学納金は妥当なものとなっているか	学納金は適正かつ妥当なものと考えており、その納付金額、納付方法に関する情報も適正に発信を行っている。		3.0	3.0	3.0	

項目	点検項目	2021年度自己点検	2022年度 重点目標	2021年度 委員会評価 (平均)	2022年度 自己評価	2022年度 委員会評価 (平均)	学校関係者評価委員よりの御意見
				【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	
8.財務	8-39 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2022年度実習費、講師料ともに予算通り、適切に執行することができた。次年度もより良い教育環境が提供できるよう努めたい。	教育環境が提供できるよう特に実習費を予算通りに適切に執行する。	3.0	3.0	3.0	
	8-40 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	計画的な収支計画・事業計画を作成し、適正な予算執行を行っている。学内では、各学科での予算作成と予算執行を行っており、部署毎で適正に予算の運用を行っている。		3.0	3.0	3.0	
	8-41 財務について会計監査が適正に行われているか	グループ企業により書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓が出来ており、毎年行う監査法人の行う内部監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、問題ない。		3.0	3.0	3.0	
	8-42 財務情報公開の体制整備はできているか	公認会計士による監査と監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会においてその報告をしている。また、webサイト上で情報公開ページを用意し、財務情報の公開を行っている。		3.0	3.0	3.0	
9.法令等の遵守	9-43 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令や設置基準の変更等に伴う申請手続き等を迅速に対応できる体制づくりを行っている。教員間での法令・基準の遵守に対する教育を継続的に実施している。また毎年の監査によりコンプライアンスの実施状況についてチェックしている。	学校運営に関する法令、規則は例年通り遵守する。また時代の変化にも素早く対応できるような体制も構築する。	3.0	3.0	3.0	
	9-44 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	学生、保護者、企業、講師、入学希望者についての個人情報保護について、同意を取り付けたうえで、規定に則り運用を行っている。教職員に向けての取り組みとして個人情報研修会を実施している。		3.0	3.0	3.0	
	9-45 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	自己点検・自己評価についての方針、実施を開始し、委員会の形成と外部評価を実施している。学校関係者評価委員会、並びに教育課程編成委員会での意見を十分に反映し、高等教育機関の制度変更への対応も行っている。		3.0	3.0	3.0	
	9-46 自己点検・自己評価結果を公開しているか	毎年自己点検・自己評価を実施し、HPによる公開を実施している。自己点検自己評価結果をもとに重点課題について学校関係者評価委員と学校づくりの検討を行い更なる評価の向上に努めている。		3.0	3.0	3.0	
10.社会貢献	10-47 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	地域貢献プログラム「ECO－Academy」を実施し、社会貢献活動を行っている。また野生生物生息域外保全研究センターに参画した。	地域貢献プログラム「ECO－Academy」をさらに充実させ、より一層社会貢献活動を行う。	2.8	3.0	3.0	・小学生をアテンドしている姿は楽しそうでした。今後はフリースクールに出向いて出張イベントはいかがですか？アウトリーチも大切ですよ(平池委員) ・野外での活動イベントなども実施、報告してほしい(田中委員) ・昨年、私の子供たちも体験させて頂きました。すごく良い経験になり夢が広がっています(武石委員)
	10-48 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	地域貢献プログラム「ECO－Academy」内にて学生ボランティア活動を実施している。またペットフェスティバル、動物愛護フェスへの参加、保護猫の支援活動も行っている。	引き続き「ECO－Academy」を中心としたボランティア活動を実施する。また参加機会が増えるよう支援も行う。	2.8	3.0	3.0	
11 国際交流	11-49 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	海外研修等でグローバル人材の育成を図っているが、コロナ禍のため再開の時期は未定。動向を注視し、いつでも再開が実施できるよう、準備を整える。また総合ペット学科ではアメリカにてトリミングサロンを営んでいる卒業生よりオンラインでの海外事情を伺う特別授業を行った。	COVID-19の感染リスクを十分に注意する。流行の波を予測し、慎重に国際交流を進める。安全に配慮し海外研修が実施できた場合は、研修先である海外の動物関係機関と教育提携を進める。	2.6	3.0	3.0	・海外で活躍したい方への語学サポートもあればいいと思います(武石委員)